

- 1 清水高等学校の高台移転に伴う特色ある学校づくり、学生寮の検討について
- 2 清水高等学校移転工事における地元業者の入札参加資格について

(答)

- 1 清水高等学校の高台移転につきましては、清水中学校の南側に本校舎を、西側に体育館及び多目的教室棟を建築することとし、昨年10月に基本設計が完了しました。

現在は、令和6年度中の移転完了を目指し、昨年12月から実施設計に着手したところです。

この移転の取組により、清水高等学校と清水中学校は、より一層教員間や生徒間の交流を深めることが可能となり、これまで進めてきております連携型中高一貫教育の更なる推進を図ることができるものと考えております。

土佐清水市には生徒の探究的な学びの実現に資することができる自然、歴史、産業など多様な教育資源があります。

そうした資源の活用を図りつつ、現在、小・中・高12年間の連続した英語学習や探究学習の教育プログラムづくりを進めているところです。

これらに加え、来年度からは、土佐清水市及び同市の産業界と清水高等学校が教育活動や人材育成に関する相互理解を深めるとともに、さらなる連携・協働ができるよう「地域コンソーシアム」を構築することとしております。

学校と行政、産業が一体となって取り組むことにより、地域において新たな価値を創造し、地域の活性化に貢献できる人材を育成していきたいと思っております。

まずは、これらの取組に注力し、地域内はもとより、地域外の生徒からも入学したいと思っただけのような魅力ある清水高等学校をつくってまいります。

- 2 今後予定しております、清水高等学校の移転における工事等の発注に当たっては、建設工事の内容や工期、周辺への影響等を考慮したうえで、土木部とも連携して発注の方法等を検討したいと考えております。